

授業科目	* 疾病学各論Ⅱ				単位	1		
履 修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU11107J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP2-1			
担当教員	浅野 嘉延、笹月 桃子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>実務家教員として、病院に長く勤務した内科医、小児科医、精神科医が、臨床経験をもとに現在の医療現場で必要とされる疾病学の知識について解説する。</p> <p>疾病学各論は看護師の業務に直結する非常に重要な授業である。疾病に関する十分な知識がなければ、適切な看護を行うことは絶対にできない。この授業では、主要な疾患の概念、疫学、症状、検査所見、治療法、予後などについて解説する。</p> <p>疾病学各論Ⅱで解説するのは、内科疾患(血液疾患、腎臓疾患)、小児科疾患、精神科疾患、などである。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主要な疾患の病態を説明できる。 2. 症状、検査所見、治療法を説明できる。 3. 他疾患との関連を説明できる。 4. 看護のポイントを説明できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	90	0	0	0	0	10	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	70						70	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	20					10	30	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
疾病学の十分な知識をもとに、ひとりの患者の病態を総合的に把握することができる。適切な看護をシュミレーションすることができる。				主要な疾患に関する基本的な知識を身に付け、人に説明することができる。疾患に関する知識をもとに、看護をする際の注意点を説明することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	
1	テーマ:小児疾患(1) (笹月桃子) 新生児領域の疾患と内科系疾患(内分泌・代謝系疾患、消化器系疾患)について解説する。			講義	当該部分の予習と復習		60	

2	テーマ:小児疾患(2) (笹月桃子) 小児期にみられる内科系疾患(感染症、呼吸器、腎臓・尿路系疾患)について解説する。	講義	当該部分の予習と復習	60
3	テーマ:小児疾患(3) (笹月桃子) 小児期にみられる内科系疾患(循環器、血液系疾患)について解説する。	講義	当該部分の予習と復習	60
4	テーマ:小児疾患(4) (笹月桃子) 小児期にみられる内科系疾患(神経系、精神系疾患、免疫・アレルギー系疾患)およびについて解説する。	講義	当該部分の予習と復習	60
5	テーマ:小児疾患(5) (笹月桃子) 小児期にみられる運動器、感覚器系疾患および急病や事故など緊急時の対応について解説する。	講義	当該部分の予習と復習	60
6	テーマ:精神疾患(1) (外部講師) 認知症について解説する。	講義	当該部分の予習と復習	60
7	テーマ:精神疾患(2) (外部講師) 小児の精神疾患(発達障害など)について解説する。	講義	当該部分の予習と復習	60
8	テーマ:精神疾患(3) (外部講師) 気分障害(うつ病など)について解説する。	講義	当該部分の予習と復習	60
9	テーマ:精神疾患(4) (外部講師) 統合失調症について解説する。	講義	当該部分の予習と復習	60
10	テーマ:精神疾患(5) (外部講師) アルコール・薬物依存症について解説する。	講義	当該部分の予習と復習	60
11	テーマ:血液疾患(1) (浅野嘉延) 貧血疾患について解説する。	講義	当該部分の予習と復習	60
12	テーマ:血液疾患(2) (浅野嘉延) 血液悪性疾患について解説する。	講義	当該部分の予習と復習	60
13	テーマ:血液疾患(3) (浅野嘉延) 輸血・化学療法について解説する。 テーマ:腎臓疾患(1) (浅野嘉延) 糸球体疾患について解説する。	講義	当該部分の予習と復習	60
14	テーマ:腎臓疾患(2) (浅野嘉延) 腎不全、透析療法について解説する。	講義	当該部分の予習と復習	60
15	テーマ:腎臓疾患(3) (浅野嘉延) 泌尿器疾患などについて解説する。 * 内科疾患の復習をする。	講義	当該部分の予習と復習	120
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				

25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<p>疾病に関する知識は看護師の日常業務に不可欠であり、看護師国家試験でも大きなウエイトを占めています。疾病学の系統講義は2年次の「疾病学各論Ⅰ」「疾病学各論Ⅱ」で最後となります。</p> <p>1年次の「形態機能学」「疾病学総論」や2年次前期の「疾病学各論Ⅰ」の知識を整理してから授業に臨んで下さい。同時期に開講される「看護のための臨床検査」とも関連します。疾病を多面的に捉えて理解するように心掛けて下さい。</p> <p>外部講師の都合で、授業の順序が入れ替わることがあります。授業中に通達します。</p>			
テキスト	<p>教科書：看護のための臨床病態学(改訂4版)、浅野嘉延編、南山堂</p> <p>ポイントをまとめたプリントを配布します。</p> <p>小児科疾患と精神科疾患のテキストは担当教員から指示があります。</p>			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>参考図書：看護のための臨床検査、浅野嘉延、南山堂</p> <p>その他、講義のなかで紹介します。</p>			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>講義は教科書と配布資料に沿って行いますので、該当する箇所を予習するとともに、講義後はしっかりと復習をして下さい。</p> <p>日頃からジャーナルやインターネットなどで疾病や健康についての関心を高め、分らないことは教員に質問するだけでなく、図書館で調べるなど積極的な姿勢に心がけて下さい。</p>			
達成度評価に関するコメント	<p>期末試験 90%、授業貢献度 10%で評価します。</p>			

